

5. フレーズを途切れないうで弾く 講師：吉良 創（1日目）  
《全てのレベルの人》 次の音を弾く準備が動きの中でスムーズに行われると、音のつながりが生まれます。  
そのための動きを確認し、練習しましょう。

〈講師紹介〉 アンネマリー・ローリングにライアー演奏を学ぶ。南沢シュタイナー子ども園理事、滝山しおん保育園園長、Quiet Waters 代表、ライアー実践家。

#### J. クニーリムのライアー演奏法について

講師：泉本信子（2日目）

《全てのレベルの人》 右手と左手をバランスよく使うこと、そして指の有効な動きをすることによって、音楽の流れが作りやすくなります。いくつかの練習を試みます。

〈講師紹介〉 スザンネ・ハインツ、ヴォルフガング・フリーベらにライアーを学ぶ。ライアーデュオやトリオの演奏活動を行う。

※分科会5は、1日目と2日目の講師が変わります。両日とも定員22名。

\*お申し込みのあった順に決める予定です。  
\*各分科会の人数は、できるだけ均等にします。

#### ◆ライアーオーケストラ

・会報15号付録楽譜から以下の曲を演奏する予定です。  
「グローリアス・アポロ」「春の歌」「アダージョ トリオソナタ」他

#### ◆総会

ライアー響会の第16回の総会をもちます。総会の出欠確認はがきを後日お送りします。

■ピッチは a=432hz で行ないます。

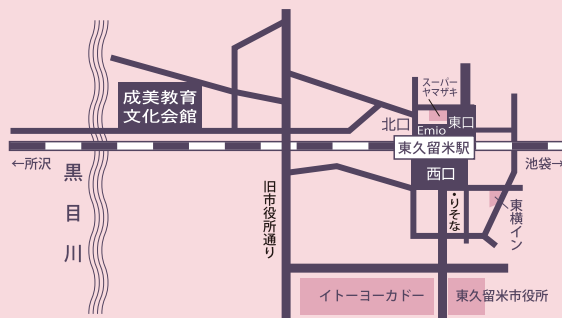
■持ち物 ・ 譜面台 ・ 会報付録楽譜15号

#### ■宿泊について

東久留米駅西口「東横イン東久留米」が便利です。  
また池袋(または所沢)のホテルも便利です。

#### ■会場へのアクセス

西武池袋線東久留米駅北口下車徒歩5分  
成美教育文化会館 東京都東久留米市東本町8-14



#### ■参加費について

2日間 10,000円(1日のみは6,000円)

\*できるだけ2日間ご参加ください。

\*交通費が往復2万円以上の方には交通費援助を考えています。  
申込はがきにご記入ください。

\*上記に該当しない方で、交通費その他で、ご事情のある方はご連絡ください。

■大会中のライアーのレンタル(有料)を検討しています。  
ご希望の方はご相談ください。

#### ■参加申し込みについて

・ライアー響会会員のための集まりです。

・同封の申込はがきにご記入の上、投函ください。

・参加費(10,000円または6,000円)を同封の振込用紙でお振込みください。

郵便振替口座 00180-8-570665  
加入者名 ライアー響会  
他金融機関から 〇-九店 570665

\*振り込まれた参加費の返金はできませんのでご了承ください。

\*参加手続き後、分科会のための資料がある場合は8月20日以降にお送りします。

#### ■申し込み締め切り 8月20日

\*準備の都合上、早めをお願いします。

(7月15日までにお送りいただくと助かります。)

\*7月15日から8月10日まで響会は休みます。



会員のための集まり No.16  
ライアー 2019 東京

## LEIER 2019 TOKYO

2019年9月14日(土)15日(日)

場所

成美教育文化会館(東京都東久留米市)

「ライアー 2019 東京」のお問い合わせ

Fax 043-463-2292 八幡

Fax 042-469-8422(8月10日以降のみ)

E-Mail hibiki@leierkyokai.jp

16回目となる今回は、オランダ出身のトーマス・ペドロリー氏をお迎えします。ペドロリー氏は教育・療法に関わること、作曲やライアー演奏等の多方面で活躍されている方で、近年はアジアを含め世界に活動を広げられています。氏には「ユリウス・クニーリムと心の楽器としてのライアー」というテーマでお話をさせていただきます。またワークショップでは、

さまざまなアプローチからの練習を紹介、そして“Stillness (静けさ)”というテーマで参加者全員による即興にも取り組んでくださる予定です。

1日目の夜には、ペドロリー氏による演奏があります。その後のワークショップではご自身が作曲された作品をみんなで演奏する予定です。楽しい夕べになると思います。

## LEIER 2019 TOKYO PROGRAMME

ライアー 2019東京 プログラム

9月13日(金) 18:00～ 「第12回 ライアー教師の会」

9月14日(土)

9:30～ 受付・調弦  
10:00～10:05 はじまりの演奏  
10:05～10:10 開会のあいさつ  
10:10～10:20 みんなで歌  
10:20～12:10 お話&ワークショップ  
「ユリウス・クニーリム (1919-1999) と心の楽器としてのライアー  
～音の間に響く静けさの癒し～」  
トーマス・ペドロリー氏 通訳:西川多江子氏

12:10～13:40 昼食  
★12:40～13:20 楽譜販売

13:40～15:10 分科会(1)

15:10～15:50 コーヒーブレイク

16:00～16:30 総会

16:40～17:45 ライアーオーケストラI

18:00～19:15 トーマス・ペドロリー氏による演奏とワークショップ  
「トーマス・ペドロリー氏の作品をみんなで楽しもう！」

9月15日(日)

9:30～ 調弦  
10:00～10:05 はじまりの演奏  
10:05～10:15 みんなで歌  
10:15～10:45 みんなでライアー (トーマス・ペドロリー氏と共に)

10:50～12:00 分科会(2)

12:00～13:30 昼食  
★12:30～13:10 楽譜販売

13:30～14:50 分科会(3)

15:00～16:15 ライアーオーケストラII(\*)

16:15 閉会のあいさつ

### ◆トーマス・ペドロリー氏 (Thomas Pedrolì)

1957年オランダ生まれ。ヴァルドルフ教員養成および自由音楽学校では主にライアーをユリウス・クニーリム、アンネマリー・ローリング、ローター・ロイプケ等に学ぶ。オランダ、ドイツのヴァルドルフ学校のクラス担任や音楽教師として約30年間勤務するほか、音楽療法士として治癒的教育や社会療法に携わる。また、ベア・アルポムと共に直感的教育研修の講義を行う。ライアーのコンサートやワークショップをヨーロッパ、ロシア、米国、日本などで数多く行ったが、2015年からはヨーロッパ、中国、日本でセミナーやコーチングを行う。ライアー作曲家でもあり最新作は「Moments of Stillness」、「Dew Drops」。

◆西川多江子氏 お茶の水女子大学文教育学部史学科卒業。  
会議通訳者養成スクールで研修の後、通訳者として通訳及び翻訳に従事。  
(株)インターグループ法人研修部英語通訳研修講師。  
ライアーの響きに魅せられ、小倉さち子氏のもとでライアーを学ぶ。

## ◆分科会

5つの分科会からひとつ選びます。2日間通じてご参加ください。

### 1. 骨と筋肉、そして心の動きを考えて弾く

講師:小倉さち子

《初級から中級の方》楽器を演奏するのは体です。骨と筋肉をどう使ったら、響きが変わるか、左手の動きがスムーズになるか、無理な力が入らないか、レガートが滑らかになるかなどを試していきます。そして楽しい即興、簡単なアンサンブルも提案します。  
(講師紹介)音楽療法の勉強の中でライアーと出会い、この楽器こそが求めていた音であり療法と感じ楽器を演奏し始める。市川ライアーの会で吉良創氏のもと奏法を学ぶ。現在、11グループの指導と演奏活動を行う。ライアー教師のコースII期修了。

### 2. 歌うこと

講師:田原眞樹子

《簡単な歌の旋律を演奏できる方であればどなたでもご参加いただけます。》ライアーを演奏するときに大きな力になってくれるオイリュトミーは、「見える歌」と称されています。「見える歌」の力を通して「ライアーで歌うこと」に取り組みます。

\*動きやすい服装で、底の薄い滑らないシューズでご参加ください。

(講師紹介)ライアークライス音質以の会・オイリュトミーカスターリア主宰。シュトゥットガルトオイリュトメウム在学中にユリウス・クニーリム氏にライアーの手ほどきを受ける。現在福岡シュタイナー学園・鹿児島どんぐり自然学校オイリュトミー教師。

### 3. リズムの大本をさぐってみよう

講師:高木芙二子

《全てのレベルの人》ヤンプス、トロケウス、アナペスト、ダクチュロス…。もとはギリシア語の詩を吟じるときの韻律で、欧米の詩に受け継がれ、音楽にも生かされてきました。

それぞれがどんな性格を持ち、どのような感情を揺り動かすかを、体で動き、ライアーで弾き、さぐってみようと思います。

(講師紹介)武蔵野音楽大学ピアノ科卒業。1982年よりライアーを弾き始め、現在各地でソロ、アンサンブルの演奏活動を続けている。またいくつかのグループを指導し、響会のライアーオーケストラの3人の指揮者の1人でもある。

### 4. 響きに満ちた声で歌おう 6

～アンカヴァーリング・ザ・ヴォイス歌唱法～

講師:平井久仁子

《全てのレベルの人》あなたの声に掛けられた声の覆いを取り除いて、本来の声を取り戻していくトレーニングを行います。歌っている時に、身体の様々な部分に余計な力をかけている事、こうであらねばならないと言った思い込み、そういった所に意識を向けながら声を出していきます。今の自分の状態を知り、そこから自分の可能性を拓けていきましょう。

(講師紹介)2001年よりフィンランドのラウルコウル(歌の学校)でアンカヴァーリング・ザ・ヴォイス歌唱指導法を学び、2007年に卒業。2004年～2008年歌唱療法(トーマス・アダム主宰)を学び、修了。ゲーテアナム精神自由大学医学部門公認歌唱療法士。現在、東久留米市のアトリエ・カンテレにて歌唱指導を行う。また、医師と協力して歌唱療法も行っている。

\* 2日目 ライアーオーケストラIIの前に「ライアーによるオイリュトミー」のデモンストレーションを行います。

\* 分科会5(裏面につづきます)